

おんねゆ温泉 山の水族館

大人が子供に還る場所 子供が大人になれる場所

今回の特集記事は、今年7月7日にリニューアルオープンした北見市留辺蘂町温根湯にある「おんねゆ温泉山の水族館」を特集いたします。

その名の通り、海からかけ離れた周りを見渡せば緑溢れる山合に水族館があります。外観やロビーは木材を多用した建物となっており、「山の水族館」という名称がしっくりくる印象を受けます。

また、お魚達も普通の水族館ならば海水魚メインの展示ですが、こちらの水族館は淡水魚約50種類ほどがお出迎えしてくれます。

また、山の水族館は日本唯一の水族館プロデューサー中村元（はじめ）氏がプロデュースした世界初（川が凍る水槽）・日本初（滝つぼ水槽）の水槽があるのが特徴です。山の水族館を見る時に欠かせないキーワードが「水塊（すいかい）」。他の水族館では感じる事の出来ない「水の動き」とそれに連動して元気に泳ぐ魚達の動きを見るこ

とができます。そして室内の照明を暗くすることにより、自分が水中を泳いで探索をしている様な感じを受けます。

「水塊」と言うキーワードはイメージがつかない方が多いと思いますが、実際に館内を見て回ればどういう事を指す言葉なのかかわかると思います。



山の水族館

以下になることも多く、外気温に直接さらされると川の表面が凍結し、結氷した川の中で魚達がどのようにして過ごしているのか鑑賞することができます。

寒さが厳しい地域にお住まいの方は川面が結氷するのを知っていても、その下の魚達の様子まで知っている人はほとんどいないんじゃないかと思えます。

外気温や天候に左右される水槽なので、春夏秋冬違った趣を楽しめる水槽となっています。

イトウの大水槽

照明が落とされた室内。幻想的な蒼い光が水槽内を照らし神秘的な空間を創り出します。そんな幻想的な水槽で悠然と泳ぐのは、日本最大の淡水魚イトウ。体長1m級のイトウが群れをなして泳ぐ姿は圧巻の一言です。

その他にも、水位の変化を感じて上流にジャンプする魚を見ることが出来る『川魚のジャンプ水槽』や色とりどりの魚達が見る者を魅了する『世界の熱帯淡水魚コーナー』、手足の古くなった角質を取ってくれるドクターフィッシュを体験出来る『ふれあいタッチコーナー』等もあり、子供から大人まで楽しめる水族館となっています。



いろいろな水槽

日本初!! 滝つぼ水槽

こちらの水槽が日本初となる水槽です。その名の通り、半ドーム状の水槽から見える風景はまさしく滝つぼ。上から勢いよく落ちてくる大量の水が複雑な水流を作り、流されないようと必死で泳ぐ大量のオショロコマを見ることが出来ます。オショロコマがひらひらと身体を左右にひねると、美しい銀鱗が水の中で映えて、言葉では言い表せないような美しさです。こちらの水槽は撮影スポットにもなっているようで、皆さん元気に泳ぐオショロコマと記念撮影されていました。



滝つぼ水槽

世界初!! 四季の水槽(川が凍る水槽)



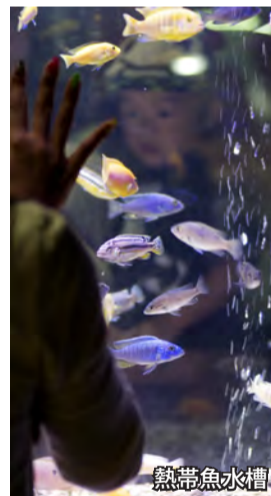
四季の水槽

こちらが世界初となる水槽です。水族館外の庭を掘り川を再現したという水槽で、川の中で力強く泳ぐ魚達の躍動は一見の価値ありです。

ここ留辺蘂町温根湯では冬になるとマイナス20℃

身近にいた魚達が環境破壊や乱獲によって、今や身近な存在ではなくなってきている現代。川遊びや川釣りなどの経験が少ない子供達にとっては、「山の水族館」は川魚の生態を間近で見られる教育の場としての一面もあるように思います。

おじいちゃんやお父さんが、孫や子供達に魚の説明を自慢気に行っている姿や、「今度釣りに行こうか?」と水槽前で楽しく談笑している姿がとても印象的でした。子供はもちろんのこと、大人も主役になれる「山の水族館」一度足を運んでみてはいかがでしょうか?



熱帯魚水槽

おんねゆ温泉 山の水族館

〒091-0153 北見市留辺蘂町松山1番地4
TEL.0157-45-2223 FAX.0157-45-3374
ホームページ: <http://onneyu-aq.com/>

利用料金

一般: 通常670円、団体割引510円、年間パスポート1000円
中学生: 通常440円、団体割引370円、年間パスポート 660円
小学生: 通常300円、団体割引200円、年間パスポート 450円

開館時間(4月~10月は無休)

夏期間(4月~10月): 午前9時~午後5時
冬期間(11月~3月): 午前10時~午後4時

休館日(冬期間)

● 毎週月曜日
● 毎月第1と第3火曜日
上記が各祝日の場合は、その翌日が休館
年末年始は12月28日~1月5日まで休館



幻の魚といわれる、イトウの水槽